

2019年3月期 第2四半期 決算説明資料

2018年11月7日

(頁)

I . 2019年3月期 第2四半期業績

・概要	(3) ~ (7)
・セグメント別実績	
<機能製品>	(8)
<化学製品>	(9)
<樹脂製品>	(10)
<建設関連・その他>	(11)
・財政状態計算書	(12)
・キャッシュフロー	(13)

II . 2019年3月期業績予想

・概要	(15) ~ (19)
・セグメント別予想	
<機能製品>	(20)
<化学製品>	(21)
<樹脂製品>	(22)
<建設関連・その他>	(23)
・主要指標予想	(24)
・キャッシュフロー予想	(25)

III . 連結対象会社の概要 (26) ~ (27)

(参考) (28) ~ (29)

I . 2019年3月期 第2四半期業績

2019年3月期 第2四半期決算の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 2Q	2019年 3月期 2Q	増減額 (率)	2019年 3月期2Q 当初予想	増減額 (率)
売上収益	695	725	30 (4.3%)	720	5 (0.6%)
営業利益	72	71	-2 (-2.5%)	50	21 (41.3%)
税引前四半期利益	72	73	2 (2.1%)	50	23 (46.6%)
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	58	53	-4 (-7.7%)	35	18 (52.0%)

1株当たり 四半期利益	円	円
	325.46	257.63

1株当たり 親会社所有者持分	円	円
	7,257	7,695

親会社所有者 持分比率	%	%
	62.0	64.0

1株当たり 配当金	円	円
	55.0	70.0

<前年同期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

建設関連は減収となったものの、機能製品、化学製品を中心に増収。

〔営業利益〕

堅調な売上による増益も、機能製品の一時的な費用増加があり、あわせて減益。

〔税引前四半期利益〕

金融収支の改善により増益。

〔親会社四半期利益〕

税金費用の増加により減益。

【当初予想比での主な差異要因】

〔売上収益〕

建設関連が下ぶれたものの、機能製品、化学製品を中心に上ぶれたことで、あわせて上ぶれ。

〔営業利益〕

機能製品の好調や化学製品の出荷前倒し等による売上増に加え、販管費の下期へのずれ込みで、上ぶれ。

〔税引前四半期利益〕

営業利益増で上ぶれ。

〔親会社四半期利益〕

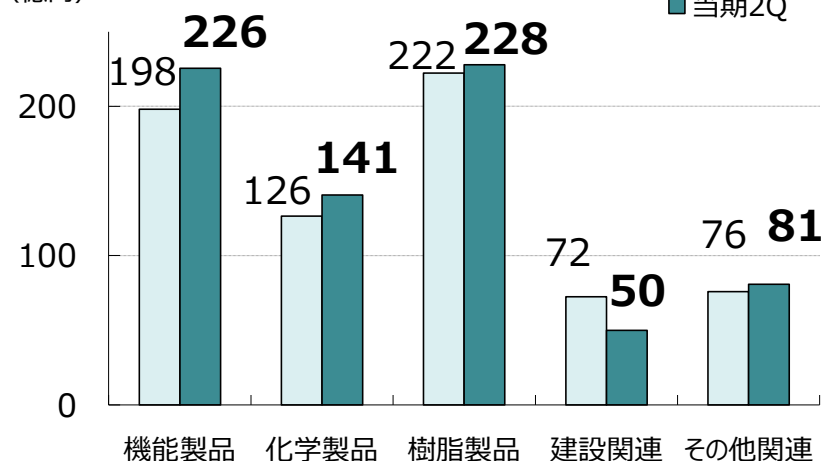
税引前四半期利益増で上ぶれ。

KUREHA

<セグメント別 第2四半期 前年比較>

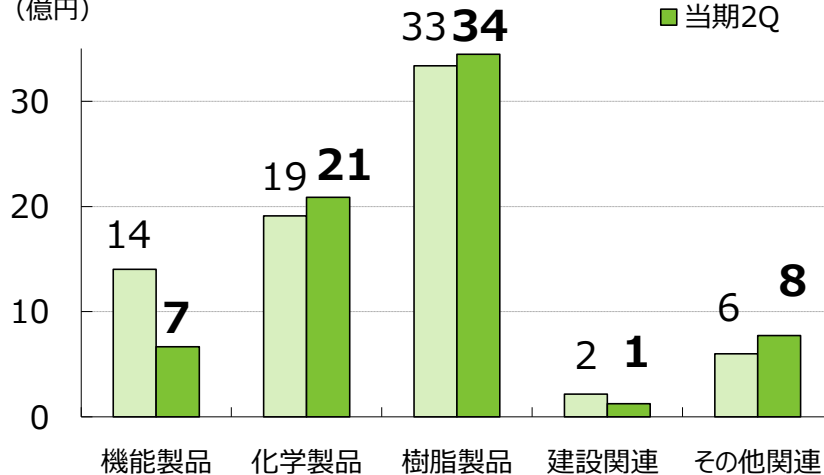
【売上収益】

(億円)



【営業利益】

(億円)



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 〔機能製品〕 機能樹脂、炭素製品は増益となるも、PGA樹脂の一時的な費用増加により、あわせて減益。
- 〔化学製品〕 医薬品が減益となるも、農薬は増益となり、あわせて増益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品・合成繊維が経費増で減益となるも、業務用包材の増益により、あわせて増益。
- 〔建設〕 建築工事が減収となり、減益。
- 〔その他〕 環境事業が増収となり、増益。

2019年3月期 第2四半期決算の概要 (3)

株式会社クレハ

2018年3月期 第2四半期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	198	126	222	72	76	695		695
調整							1	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							5	
営業利益	14	19	33	2	6	75	-2	72
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						3	
金融費用(-)							4	
税引前四半期利益								72
親会社四半期利益								58

…環境対策引当金 4億円

2019年3月期 第2四半期 実績

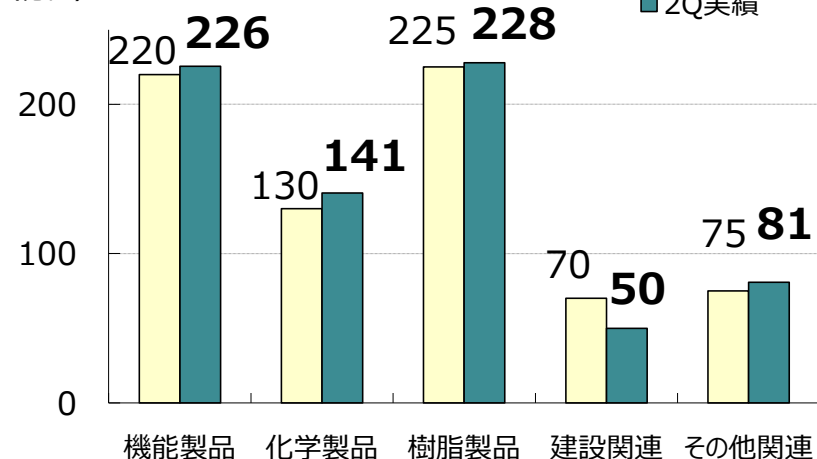
(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	226	141	228	50	81	725		725
調整							-1	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							2	
営業利益	7	21	34	1	8	71	-0	71
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						4	
金融費用(-)							2	
税引前四半期利益								73
親会社四半期利益								53

【セグメント別 第2四半期 当初予想比較】

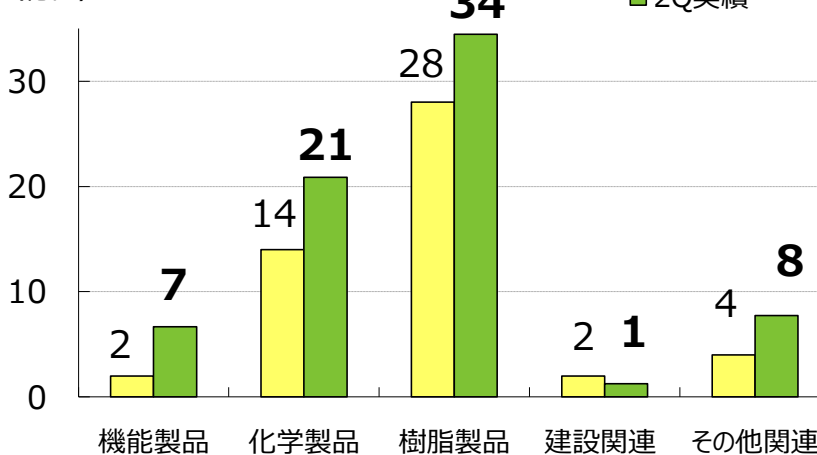
【売上収益】

(億円)



【営業利益】

(億円)



<セグメント別 営業利益の主な増減要因>

- 【機能製品】 PPSが利益減も、PVDFと炭素繊維の販売好調により、上ぶれ。
- 【化学製品】 農薬の下期からの出荷前倒し、工業薬品の価格改定により、上ぶれ。
- 【樹脂製品】 家庭用品、合成繊維の販売好調と経費減により、上ぶれ。
- 【建設】 建築工事の減少により、下ぶれ。
- 【その他】 環境事業が好調のため、上ぶれ。

2019年3月期 第2四半期決算の概要 (5)

株式会社クレハ

2019年3月期 第2四半期 当初予想

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	220	130	225	70	75	720		720
調整							0	
その他の収益(+)							1	
その他の費用(-)							1	
営業利益	2	14	28	2	4	50	0	50
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						3	
金融費用(-)							3	
税引前四半期利益								50
親会社四半期利益								35

2019年3月期 第2四半期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	226	141	228	50	81	725		725
調整							-1	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							2	
営業利益	7	21	34	1	8	71	-0	71
金融収益(+)	セグメント別営業利益計						4	
金融費用(-)							2	
税引前四半期利益								73
親会社四半期利益								53

(7)



(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期 2Q	3月期 2Q		
機能樹脂	116	130	14	12%
炭素製品	26	27	1	4%
クレハ単体 計	141	157	15	11%
連結子会社	140	146	6	4%
連結売上消去	-83	-77	6	-
連結売上収益	198	226	27	14%
連結営業利益	14	7	-7	-53%

[当初予想：売上収益**220**億円 営業利益**2**億円]

＜前年同期比＞ 増収・減益

機能樹脂

LiBバインダー用途向けPVDF、シールドオイル・ガス掘削用途向けPGAは増収となるも、PGAの一時的な費用増とPPSの損益悪化により、増収・減益。

炭素製品

炭素繊維の売上が増加し、増収・増益。

＜当初予想比＞ 売上↑ 営業利益↑

PPSが当初予想を下回ったものの、PGAは当初予想通り、PVDFと炭素製品が当初予想を上回ったことで、売上・利益ともに上ぶれ。

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	2Q	2Q		
農薬	40	46	6	14%
医薬品	22	25	3	12%
工業薬品	48	52	4	9%
クレハ単体 計	110	122	13	11%
連結子会社	30	34	4	13%
連結売上消去	-14	-16	-2	-
連結売上収益	126	141	14	11%
連結営業利益	19	21	2	9%

[当初予想：売上収益**130**億円 営業利益**14**億円]

<前年同期比> 増収・増益

農薬

農業・園芸用殺菌剤の売上が増加し、増収・増益。

医薬品

慢性腎不全用剤の数量は増加するも、薬価改定等の影響で、増収・減益。

工業薬品

原燃料費価格の上昇あるも価格改定により、増収・利益横ばい。

<当初予想比> 売上↑ 営業利益↑

農薬の下期からの出荷前倒しと、工業薬品の採算改善が進んだことにより、売上・利益ともに上ぶれ。

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	2Q	2Q		
家庭用品	106	107	1	1%
業務用包材	32	30	-2	-6%
クレハ単体 計	137	136	-1	-1%
業務用包材(海外)	59	63	4	7%
合成繊維	22	23	1	4%
その他	35	32	-2	-6%
連結子会社 計	115	118	3	3%
連結売上消去	-30	-27	3	-
連結売上収益	222	228	5	2%
連結営業利益	33	34	1	3%

<前年同期比> 増収・増益

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」、釣糸「シーガー」の売上が増加したが、経費増加により、増収・減益。

業務用包材

熱収縮多層フィルムの売上が増加し、増収・増益。

<当初予想比> 売上↑ 営業利益↑

業務用包材は当初予想どおり、家庭用品と合成繊維の売上の上ぶれに加え、経費の下期へのずれ込みもあり、売上・利益ともに上ぶれ。

[当初予想：売上収益225億円 営業利益28億円]

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2018年	2019年	増減 (率)	
	3月期	3月期		
	2Q	2Q		
建設関連事業	104	81	-23	-22%
連結売上消去	-32	-31	0	-
連結売上収益	72	50	-22	-31%
連結営業利益	2	1	-1	-42%

[当初予想：売上収益70億円 営業利益 2億円]

【その他関連】

環境事業	46	53	7	15%
運送事業	41	41	-0	-0%
病院事業	18	18	0	0%
その他	9	10	0	4%
連結子会社 計	115	122	7	6%
連結売上消去	-39	-41	-2	-
連結売上収益	76	81	5	7%
連結営業利益	6	8	2	29%

[当初予想：売上収益75億円 営業利益 4億円]

【建設関連】

<前年同期比> 減収・減益

土木工事は堅調も建築工事が減少し、減収・減益。

<当初予想比> 売上 ↓ 営業利益 ↓

建築工事の減少により、売上・利益ともに下ぶれ。

【その他関連】

<前年同期比> 増収・増益

環境事業は産業廃棄物処理等が増加し増収・増益。

運送事業は減収、利益は横ばい。

病院事業は売上・利益ともに横ばい。

<当初予想比> 売上 ↑ 営業利益 ↑

環境事業の好調により、売上・利益ともに上ぶれ。

KUREHA

1. 資産の部

	2018年 3月末	2018年 9月末	増減
現金・現金同等物	65	55	-9
営業・その他債権	327	309	-17
棚卸資産	360	336	-24
その他流動資産	18	45	27
流動資産計	770	745	-24
有形固定資産	1,142	1,160	18
無形固定資産	13	12	-1
投資等	497	564	67
非流動資産計	1,653	1,737	83
資産合計	2,423	2,482	59

2. 負債・資本の部

(単位：億円)

	2018年 3月末	2018年 9月末	増減
営業・その他債務	215	200	-16
有利子負債	481	459	-22
引当金	66	65	-1
その他負債	140	153	13
負債計	902	876	-26
資本金	182	182	-
資本剰余金	153	150	-2
自己株式	-7	-7	-0
利益剰余金	1,087	1,131	43
その他の資本	87	134	46
非支配株主持分	18	16	-2
資本計	1,520	1,605	85
負債・資本合計	2,423	2,482	59

(単位:億円)

	2018年 3月期 2Q	2019年 3月期 2Q	増減
税引前四半期利益	72	73	2
減価償却費および償却費	49	50	1
その他	-13	-19	-6
営業キャッシュフロー	108	103	-4
投資キャッシュフロー	-59	-73	-14
財務キャッシュフロー	-53	-40	12
現金及び現金同等物に係る換算差額	-0	0	1
現金及び現金同等物の増減額	-4	-9	-6
現金及び現金同等物の期首残高	62	65	3
現金及び現金同等物の期末残高	58	55	-3

Ⅱ. 2019年3月期 業績予想

(単位:億円)

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減額 (率)
売上収益	1,473	1,500	27 (1.8%)
営業利益	130	140	10 (7.9%)
税引前利益	127	140	13 (10.4%)
親会社利益	97	105	8 (8.3%)
<hr/>			
1株当たり	円	円	
親会社利益	507.48	508.36	
親会社所有者持分	7,272	7,731	
中間配当金	55.0	70.0	
期末配当金	70.0	70.0	

<前期比での主な差異要因>

〔売上収益〕

機能製品を中心に増収。

〔営業利益〕

機能製品以外は売上減や経費増により減益となるも、PGAの損益改善を中心に機能製品が大きく増益、さらに「その他の費用」の減少により、合わせて増益。

〔税引前利益〕

営業利益の増加により、増益。

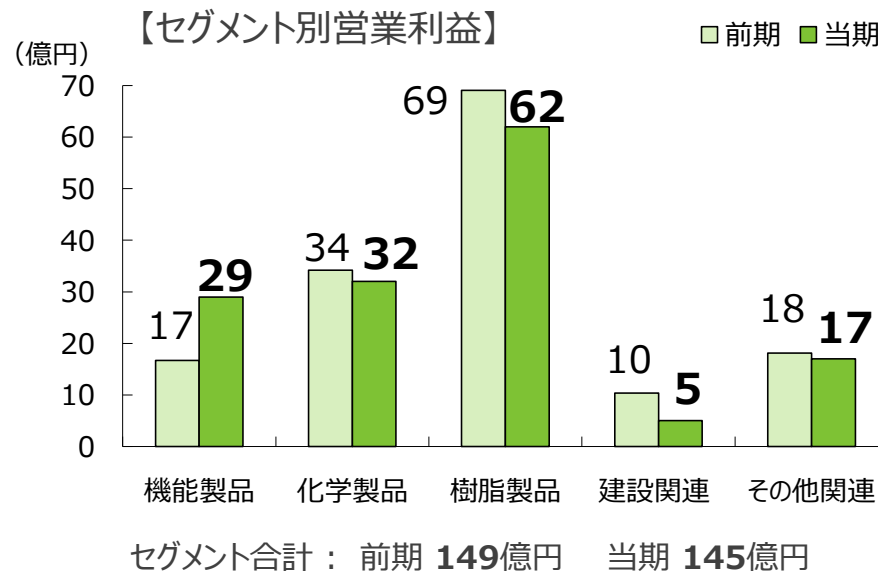
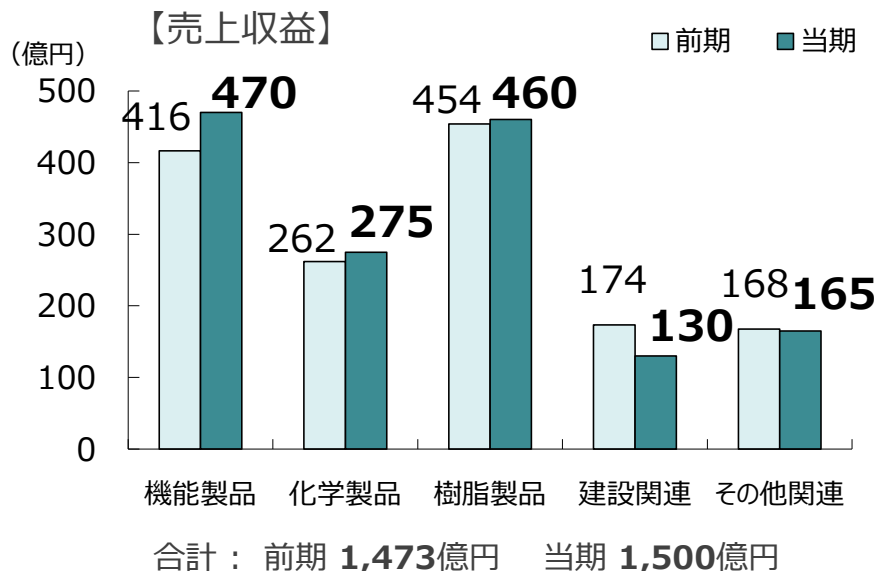
〔親会社利益〕

税引前利益の増加により、増益。

【当初予想(2018年5月)との比較】

セグメント間の入り繰り (p.18参照) はあるが、全体として修正なし。

<セグメント別 前期比較>



<営業利益の主な変動ポイント> 下線：2018年5月発表時から修正した箇所

- 〔機能製品〕 PPS事業の損益悪化があるも、PGA事業の立ち上がりによる損益改善で、増益。
- 〔化学製品〕 農薬は売上が減少、医薬品新剤形は数量増も薬価改定等の影響を受け、減益。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の販促費等の経費増加のため、減益。
- 〔建設〕 工賃、資材費の上昇により、減益。
- 〔その他〕 環境事業における競争激化により、減益。

2019年3月期 業績予想 概要 (3)

株式会社クレハ

<セグメント別 前期比較>

2018年3月期 実績

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	416	262	454	174	168	1,473		1,473
調整							2	
その他の収益(+)							5	
その他の費用(-)							26	
営業利益	17	34	69	10	18	149	-19	130
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							9	
税引前利益								127
親会社利益								97

…補助金収入 3億円
 …固定資産除売却損 13億円
 固定資産減損 7億円
 環境対策引当金 4億円

2019年3月期 修正予想 (11/7修正)

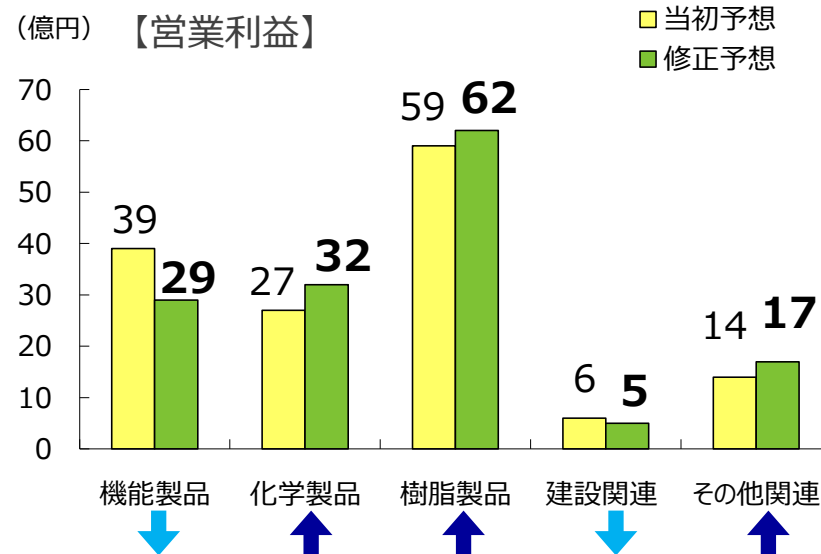
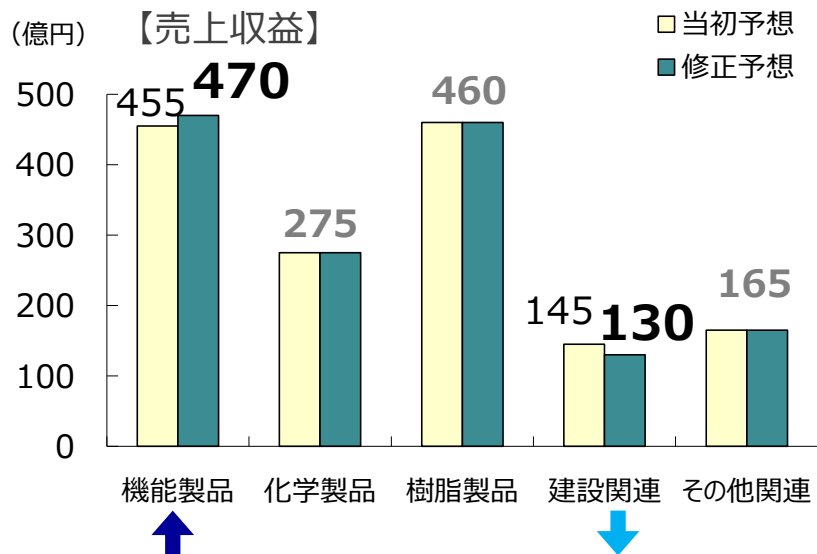
(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	470	275	460	130	165	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							7	
営業利益	29	32	62	5	17	145	-5	140
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								140
親会社利益								105

…固定資産除売却損 5億円

KUREHA

【セグメント別 当初予想との比較】



<営業利益の主な変動ポイント>

- 〔機能製品〕 LiB用バインダー向けPVDFと炭素繊維が上ぶれするも、PPSが米国合併会社を含めて大きく下ぶれ。PGAは売上計画達成も直販比率未達で利益わずかに下ぶれ。
- 〔化学製品〕 工業薬品の採算改善と米国向け農薬の円安寄与等により、上ぶれ。
- 〔樹脂製品〕 家庭用品の順調な売上と経費減により、上ぶれ。
- 〔建設〕 建築工事減による売上減により、下ぶれ。
- 〔その他〕 産業廃棄物処理が増加し、上ぶれ。

2019年3月期 業績予想 概要 (5)

株式会社クレハ

【セグメント別 当初予想との比較】

2019年3月期 当初予想

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	455	275	460	145	165	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							1	
その他の費用(-)							6	
営業利益	39	27	59	6	14	145	-5	140
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								140
親会社利益								105

…固定資産除却損 5億円

2019年3月期 修正予想 (11/7修正)

(単位：億円)

	セグメント						調整	全社
	機能	化学	樹脂	建設	その他	計		
売上収益	470	275	460	130	165	1,500		1,500
調整							0	
その他の収益(+)							2	
その他の費用(-)							7	
営業利益	29	32	62	5	17	145	-5	140
金融収益(+)	セグメント別営業利益計 ↓						6	
金融費用(-)							6	
税引前利益								140
親会社利益								105

…固定資産除却損 5億円

KUREHA

(単位：億円)

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減 (率)	
機能樹脂	244	282	38	15%
炭素製品	49	48	-1	-3%
クレハ単体 計	294	330	36	12%
連結子会社 計	296	340	44	15%
連結売上消去	-173	-200	-27	-
連結売上収益	416	470	54	13%
連結営業利益	17	29	12	74%

[当初予想：売上収益**455**億円 営業利益**39**億円]

<前期比> 増収・増益

機能樹脂

PPSが減収・減益となるも、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGAが大きく伸長、またLiB用バインダー向けPVDFも増収となり、合わせて増収・増益。

炭素製品

適正価格の実現とコスト削減を継続するも、売上減少により、減益。

<当初予想比> 売上↑ 営業利益↓

- ・LiB用バインダー向けPVDFと炭素繊維が上ぶれするも、PPSが米国合併会社を含めて利益大きく下ぶれ。
- ・PGAは売上計画達成も直販比率未達で利益わずかに下ぶれ。

【化学製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減 (率)	
農薬	92	83	-9	-9%
医薬品	38	51	13	33%
工業薬品	94	101	7	7%
クレハ単体 計	224	235	11	5%
連結子会社	65	70	5	8%
連結売上消去	-27	-30	-3	-
連結売上収益	262	275	13	5%
連結営業利益	34	32	-2	-6%

[当初予想：売上収益**275**億円 営業利益**27**億円]

<前期比> 増収・減益

農薬

農業・園芸用殺菌剤は、前期での期ずれによる売上計上がなくなることで、減収・減益。

医薬品

新剤形による販売が伸びるものの、薬価改定等の影響から、増収・利益横ばい。

工業薬品

採算を重視した販売の継続と価格改定の実現により、増収・増益。

<当初予想比> 売上 → 営業利益 ↑

工業薬品の採算改善と米国向け農薬の円安寄与により、利益上ぶれ。

KUREHA

【樹脂製品】 セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減 (率)	
家庭用品	207	211	4	2%
業務用包材	63	59	-4	-7%
クレハ単体 計	270	270	0	0%
業務用包材(海外)	131	140	9	7%
合成繊維	42	45	3	7%
その他	74	70	-4	-6%
連結子会社 計	248	255	8	3%
連結売上消去	-64	-65	-1	-
連結売上収益	454	460	6	1%
連結営業利益	69	62	-7	-10%

[当初予想：売上収益**460**億円 営業利益**59**億円]

<前期比> 増収・減益

家庭用品

家庭用ラップ「NEWクレラップ」や「キッチンさん」の販売を伸ばすも、販促費等経費の増加にともない増収・減益。

業務用包材

高機能タイプの熱収縮多層フィルムの海外展開を強化し、増収・増益。

<当初予想比> 売上➡ 営業利益↑

家庭用品の順調な売上と経費減により、利益上ぶれ。

KUREHA

【建設・その他】セグメント別 売上収益・営業利益

株式会社クレハ

【建設関連】

(単位：億円)

	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減 (率)	
建設関連事業	239	200	-39	-16%
連結売上消去	-66	-70	-4	-
連結売上収益	174	130	-44	-25%
連結営業利益	10	5	-5	-52%

[当初予想：売上収益**145**億円 営業利益**6**億円]

【その他関連】

環境事業	110	110	0	0%
運輸・倉庫事業	83	83	0	0%
病院事業	36	37	1	3%
その他	18	18	0	1%
連結子会社 計	247	248	1	0%
連結売上消去	-79	-83	-4	-
連結売上収益	168	165	-3	-2%
連結営業利益	18	17	-1	-6%

[当初予想：売上収益**165**億円 営業利益**14**億円]

【建設関連】

<前期比> 減収・減益

建設事業は、復興関連工事の減少と、工賃・資材費の上昇を見込み、減収・減益。

<当初予想比> 売上 ↓ 営業利益 ↓

建築工事の減少により、下ぶれ。

【その他関連】

<前期比> 減収・減益

環境事業は売上横ばいも、低濃度PCB処理事業の競争激化などにより、減益。

<当初予想比> 売上 → 営業利益 ↑

環境事業の産業廃棄物処理が増加し、利益上ぶれ。

KUREHA

主要指標予想

株式会社クレハ

(単位：億円)

	2018年3月期			2019年3月期			増減額 (率)	
	上期 実績	下期 実績	年間 実績	上期 実績	下期 予想	年間 予想		
設備投資額	40	58	98	58	87	145	47	(48%)
減価償却実施額	49	50	99	50	53	103	4	(4%)
研究開発費	23	27	50	25	33	58	8	(16%)
有利子負債残高	560	481	481	459	454	454	-27	(-6%)
為替レート (円/\$)	期中平均	111.0	110.7	110.9	110.3	110.0	110.1	
	期末	112.7	106.2	106.2	113.6	110.0	110.0	
(円/€)	期中平均	126.3	133.1	129.7	129.8	130.0	129.9	
	期末	132.9	130.5	130.5	132.1	130.0	130.0	
(円/元)	期中平均	16.4	17.1	16.7	16.7	16.0	16.4	
	期末	17.0	16.9	16.9	16.5	16.0	16.0	

KUREHA

(単位:億円)

	2018年 3月期実績	2019年 3月期予想	増減
税引前利益	127	140	13
減価償却費および償却費	99	105	6
その他	-24	11	35
営業キャッシュフロー	202	256	54
投資キャッシュフロー	-97	-177	-80
財務キャッシュフロー	-104	-86	18
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0	-2
現金及び現金同等物の増減額	3	-6	-9
現金及び現金同等物の期首残高	62	65	3
現金及び現金同等物の期末残高	65	58	-6

連結対象会社の概要 (1)

株式会社クレハ

(単位：億円)

	18年3月期2Q		19年3月期2Q		増減	
	売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
(株)クレハ	323	1,911	343	1,969	19	58
(株)クレハトレーディング・グループ2社	86	139	92	138	6	-1
機能製品						
(株)クレハ	141	-	157	-	15	-
(株)クレハトレーディング・グループ2社	53	-	57	-	5	-
クレハエクストロン(株)	9	20	11	21	2	1
クレハエクステック(株)	11	16	13	14	2	-1
Kureha GmbH	9	7	11	11	3	5
Kureha America Inc.・グループ4社	33	287	12	272	-21	-15
呉羽（上海）炭繊維材料有限公司	4	16	7	13	2	-3
呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	22	112	35	102	13	-10
連結調整	-83	-	-77	-	6	-
計	198	-	226	-	27	-
化学製品						
(株)クレハ	110	-	122	-	13	-
(株)クレハトレーディング	30	-	34	-	4	-
連結調整	-14	-	-16	-	-2	-
計	126	-	141	-	14	-
樹脂製品						
(株)クレハ	137	-	136	-	-1	-
(株)クレハトレーディング	25	-	24	-	-1	-
クレハ合繊(株)	22	46	23	50	1	4
呉羽（中国）投資有限公司・グループ2社	1	-	1	-	-0	-
Kureha America Inc.・グループ4社	9	8	8	8	-0	0
欧州等食品包材・グループ4社	42	75	47	77	4	2
クレハベトナム	17	38	16	34	-0	-4
連結調整	-30	-	-27	-	3	-
計	222	-	228	-	5	-

KUREHA

連結対象会社の概要 (2)

株式会社クレハ

(単位：億円)

		18年3月期2Q		19年3月期2Q		増減	
		売上収益	総資産	売上収益	総資産	売上収益	総資産
建設関係	クレハ錦建設(株)・グループ4社	94	109	67	100	-26	-9
	(株)クレハエンジニアリング	10	23	14	18	4	-4
	連結調整	-32	-	-31	-	0	-
	計	72	-	50	-	-22	-
その他	(株)クレハ環境	40	80	47	88	6	8
	(株)クレハ分析センター	6	5	6	6	0	1
	クレハ運輸(株)・グループ2社	41	59	41	62	-0	3
	(株)クレハトレーディング	0	-	0	-	-0	-
	クレハサービス(株)	3	10	3	10	0	0
	社団医療法人呉羽会	18	35	18	33	0	-2
	クレハスタッフサービス(株)	6	6	6	6	0	0
	連結調整	-39	-	-41	-	-2	-
計	76	-	81	-	5	-	
連結合計		695	-	725	-	30	-
(連結対象子会社+持分法適用会社数)		(32)		(32)			

フッ化ビニリデン樹脂(PVDF)

自動車の電動化
(EV、PHEV、HEV)

LIB用バインダーの需要拡大



本年8月に竣工したPVDF増強プラント(年産2,000トン、投資額47億円)は来年1月に商業生産開始予定。いわき/6,000トン、中国/5,000トンの合計年産11,000トンへ

PPS樹脂

耐熱性

高強度

加工性

電装化

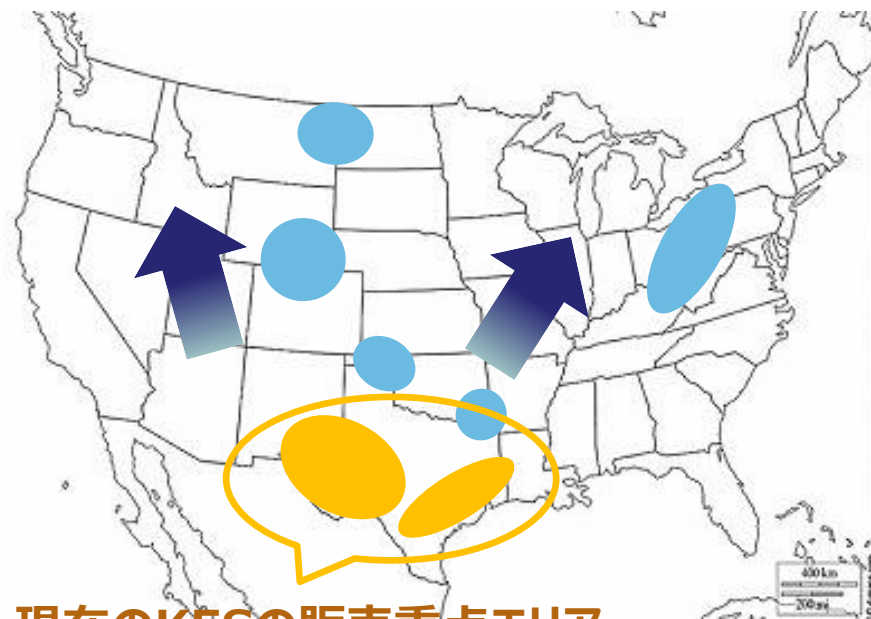
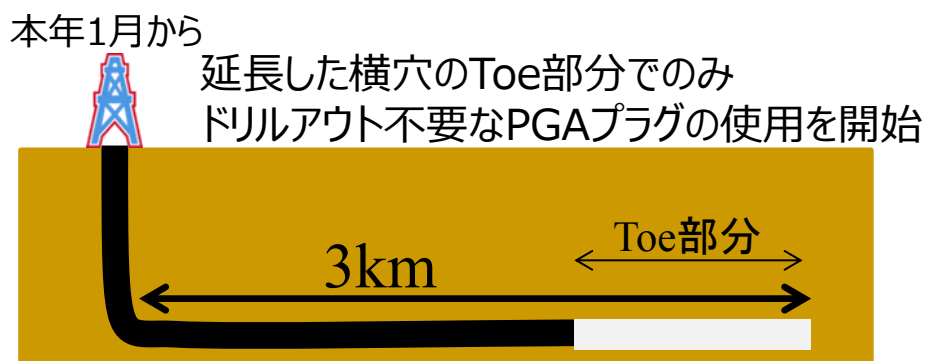
ニーズ

軽量化



稼働中のPPSプラント(年産10,700トン) 2021年2月に年産5,000トン増強(投資額100億円)し、年産15,700トンへ

(参考) PGAプラグは部分採用から全体採用へ、 エリアも拡大



- 現在8社で受注継続中、販売エリアも拡大中
- 超低温タイプは今秋より受注開始した
- 大手顧客のfull boreでのテスト結果OK、受注開始に向けて準備中

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。